

UPDRS42 項目（参考）

UPDRS1、精神機能、行動、および気分に関するスケール。

1. 知的機能の障害

- 0 なし
- 1 軽度、健忘が一貫してみられるが、部分的に思い出す。他の障害はない。
- 2 中等度の記銘力障害と見当識障害あり、複雑な問題への対処に中等度の障害、家庭内でも軽度ながら明らかに障害あり、ときに介助を必要とする。
- 3 重篤な記憶障害と時間と、ときに場所に対する見当識障害、問題の対処に重篤な障害。
- 4 重篤な記憶障害と見当識は人に対してのみ保たれている。判断や問題解決は不可能、身の回りのことにもかなりの介助が必要で、ひとりにしておけない。

2. 思考の障害（痴呆または薬物の中毒による）

- 0 なし
- 1 生々しい夢をみる。
- 2 たちの良い幻覚、幻覚であることはわかっている。
- 3 時々あるいはしばしば幻覚・妄想があるが病識がない。日常生活に支障をきたすことある。
- 4 持続的に幻覚・妄想あるいは病勢盛んな精神病がある。自分でケアをできない。

3. 抑うつ

- 0 なし
- 1 ときに正常以上の悲しみや罪悪感に悩まされる。数日や数週続くことはない。
- 2 うつが1週間以上続く。
- 3 不眠、食欲不振、体重減少、興味の消失をともなう抑うつ状態。
- 4 上記の症状に自殺念慮あるいは自殺企図をともなう。

4. 意欲・自発性

- 0 正常
- 1 通常より受動的、より消極的。
- 2 選択的活動（ルーチンでない）を進んでおこなわない。興味の喪失。
- 3 日々の活動（ルーチン）を進んでおこなわない。興味の喪失。
- 4 引きこもり、意欲の完全な消失。

UPDRS2、日常生活動作（ON/OFF時に分けて評価）

5. 会話

- 0 正常
- 1 軽度の障害、理解するのに障害なし。
- 2 中等度の障害、ときどきもう一度くり返すように頼まれる。
- 3 高度の障害、しばしばもう一度くり返すように頼まれる。
- 4 ほとんどの時間、聞き取り不能。

6. 唾液

- 0 正常
- 1 口中の唾液が軽度ながら明らかに増加、夜間の流涎をみることあり。
- 2 中等度に唾液が増加、軽度の流涎があることもある。
- 3 著明に唾液が増加、ときに流涎。
- 4 著明に流涎、ティッシュやハンカチをつねに必要とする。

7. 嚥下

- 0 正常
- 1 まれにむせる。
- 2 ときどきむせる。
- 3 柔らかい食事にしないとむせる。
- 4 鼻管や胃瘻でチューブフィーディング。

8. 書字

- 0 正常
- 1 軽度書字が遅いか字が小さい。
- 2 中等度に遅いか字が小さい、すべての語は読める。
- 3 高度に障害、すべての語が読めるわけではない。
- 4 語の大多数は読めない。

9. 食べ物のカット、食器の取り扱い

- 0 正常
- 1 いくらか遅くぎこちないが、助けはいらない。
- 2 遅くぎこちないが、たいていの食餌はカットできる。部分的に介助。
- 3 食べ物は他の人に切ってもらわないといけませんが、ゆっくりと食べられる。
- 4 他人に食べさせられる。

10. 着衣

- 0 正常
- 1 いくらか遅いが、介助は要しない。
- 2 ボタンを留める、そでに腕を通すなどで時に介助を要する。
- 3 いくらか自分でできることもあるが、かなり介助が必要。
- 4 自分では何もできない。

11. 衛生（入浴・トイレ）

- 0 正常
- 1 やや遅いが介助は要しない。
- 2 シャワーや入浴に介助を要する、とても遅い。
- 3 洗顔・歯磨き・くし・風呂に行くなど介助を要する。
- 4 膀胱カテーテル。

12. 寝返りおよびシーツをなおす

- 0 正常
- 1 すこし遅く、不器用だが、介助は必要ない。
- 2 ひとりで寝返りをうったりシーツを直せるが、たいへんな努力を要する。
- 3 寝返りやシーツをなおす動作は始められる、しかし完結できない。
- 4 自分ではまったくできない。

13. 転倒（すくみ現象とは関係なしに）

- 0 なし
- 1 まれに転倒
- 2 時々転倒。平均して一日に一回はない。
- 3 平均して一日一回転倒。
- 4 一日数回転倒。

14. 歩行中のすくみ

- 0 なし
- 1 歩行中にまれにすくみ、歩き始めにすくむことがある。
- 2 時々歩行中にすくむ。
- 3 しばしばすくむ、これにより時に転倒する。
- 4 しばしばすくみ足により転倒する。

15. 歩行

- 0 なし
- 1 軽度障害、腕の振りが無かったり、足を引きずることがある。
- 2 中等度障害、しかし介助はほとんどいらぬか不要。
- 3 高度障害、介助を要する。
- 4 介助をもつても歩行不能。

16. 振戦

- 0 ない
- 1 軽度そしてまれにある、患者にとっては煩わしくない。
- 2 中等度、患者は気になる。
- 3 高度、多くの日常生活動作ができない。
- 4 著明、ほとんどの日常生活動作が妨げられる。

17. パーキンソン症候群に関連した感覚障害

- 0 なし
- 1 時々感覚鈍麻、ちくちく、または痛みを感じる。
- 2 しばしば 感覚鈍麻、ちくちく、または痛みを感じる、苦痛ではない。
- 3 しばしば痛みを感じる。
- 4 耐え難い痛み。

UPDRS3、運動機能検査 (ON 時に検査)

18. 言語

- 0 正常
- 1 表現、用語、and/or 声量の軽度の障害がある。
- 2 中等度の障害、単調で不明瞭だが理解できる。
- 3 著しい障害、理解が困難。
- 4 理解不能。

19. 顔の表情

- 0 正常
- 1 わずかに表情が乏しい、ポーカークフェース。
- 2 軽度だがあきらかな表情の減少。
- 3 中等度の表情の乏しさ、口を閉じていないときがある。
- 4 仮面様で、ひどくあるいは完全に表情がない、口は 0.6cm 以上開いている。

20. 安静時の振戦

・顔面

- 0 なし
- 1 わずかの振戦が、時に見られる程度。
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある。または中等度の振幅の振戦がときどきある。
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある。
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある。

・左手

- 0 なし
- 1 わずかの振戦が、時に見られる程度。
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある。または中等度の振幅の振戦がときどきある。
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある。
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある。

・右手

- 0 なし
- 1 わずかの振戦が、時に見られる程度。
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある。または中等度の振幅の振戦がときどきある。
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある。
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある。

・左足

- 0 なし
- 1 わずかの振戦が、時に見られる程度。
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある。または中等度の振幅の振戦がときどきある。
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある。
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある。

・右足

- 0 なし
- 1 わずかの振戦が、時に見られる程度。
- 2 軽度の振幅の振戦が常にある。または中等度の振幅の振戦がときどきある。
- 3 中等度の振戦がほとんどの時間ある。
- 4 高度の振戦がほとんどの時間ある。

2.1. 手の動作時または姿勢時振戦

・左

- 0 ない
- 1 軽度；動作にともなっておこる。
- 2 中等度の振幅；動作にともなっておこる。
- 3 中等度の振幅；動作時，姿勢時におこる。
- 4 著明な振幅．食事が妨げられる。

・右

- 0 ない
- 1 軽度；動作にともなっておこる。
- 2 中等度の振幅；動作にともなっておこる。
- 3 中等度の振幅；動作時，姿勢時におこる。
- 4 著明な振幅、食事が妨げられる。

2.2. 固縮（患者は座位で安静にしている。主要な関節で判断する。歯車現象は無視）

・頸部

- 0 ない
- 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度。
- 2 軽度ないし中等度の固縮。
- 3 高度の固縮、しかし関節可動域は正常。
- 4 著明な固縮、関節可動域に制限あり。

・左上肢

- 0 ない
- 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度。
- 2 軽度ないし中等度の固縮。
- 3 高度の固縮、しかし関節可動域は正常。
- 4 著明な固縮、関節可動域に制限あり。

・右上肢

- 0 ない
- 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度。
- 2 軽度ないし中等度の固縮。
- 3 高度の固縮、しかし関節可動域は正常。
- 4 著明な固縮、関節可動域に制限あり。

・左下肢

- 0 ない
- 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度。
- 2 軽度ないし中等度の固縮。
- 3 高度の固縮、しかし関節可動域は正常。
- 4 著明な固縮、関節可動域に制限あり。

・右下肢

- 0 ない
- 1 軽微またはミラームーブメントないし他の運動で誘発できる程度。
- 2 軽度ないし中等度の固縮。
- 3 高度の固縮、しかし関節可動域は正常。
- 4 著明な固縮、関節可動域に制限あり。

2.3. 指タップ（親指と示指をなるべく大きく早くタップする。左右は別々に）

・左

- 0 正常 ($> = 1.5 / 5$ 秒)
- 1 すこしおそいか、振幅が減少している。(1.1 - 1.4 / 5秒)
- 2 中等度の障害、疲れやすい、ときどき運動が止まることがある。(7 - 10 / 5秒)
- 3 著明な障害、はじめにしばしばすくむ、または運動中にとまる。(3 - 6 / 5秒)
- 4 ほとんどできない。(0 - 2 / 5秒)

・右

- 0 正常 ($> = 1.5 / 5$ 秒)
- 1 すこしおそいか、振幅が減少している。(1.1 - 1.4 / 5秒)
- 2 中等度の障害、疲れやすい、ときどき運動が止まることがある。(7 - 10 / 5秒)
- 3 著明な障害、はじめにしばしばすくむ、または運動中にとまる。(3 - 6 / 5秒)
- 4 ほとんどできない。(0 - 2 / 5秒)

2.4. 手の動作（できるだけ大きく、すばやく手の開閉をくり返す。左右は別々に）

・左

- 0 正常
- 1 すこし遅いか、振幅が小さい。
- 2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。ときに運動が止まるがあっても良い。
- 3 著明な障害。しばしば開始時にすくみ、運動がとまる。
- 4 ほとんどできない。

・右

0 正常

1 すこし遅いか、振幅が小さい。

2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。ときに運動が止まることがあっても良い。

3 著明な障害。しばしば開始時にすくみ、運動がとまる。

4 ほとんどできない。

25. 手の回内回外運動。垂直や水平の位置で、できるだけ大きく、左右は別々に。

・左

0 正常

1 すこし遅いか、振幅が小さい。

2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。時に止まっても良い。

3 著明な障害。しばしば開始時にすくむ。あるいは途中で止まる。

4 ほとんどできない。

・右

0 正常

1 すこし遅いか、振幅が小さい。

2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。時に止まっても良い。

3 著明な障害。しばしば開始時にすくむ。あるいは途中で止まる。

4 ほとんどできない。

26. 下肢の敏捷性。下肢をあげてかかとで床をタップする。かかとは7.5cmあげる。

・左

0 正常

1 すこし遅いか、振幅が小さい。

2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。時に止まっても良い。

3 著明な障害。しばしば開始時にすくむか運動が止まる。

4 ほとんどできない。

・右

0 正常

1 すこし遅いか、振幅が小さい。

2 中等度の障害。すぐ疲れてしまう。時に止まっても良い。

3 著明な障害。しばしば開始時にすくむか運動が止まる。

4 ほとんどできない。

27. イスから立ち上がる。(まっすぐの背もたれの本か金属のイ、腕を組んだまま立ち上がる)

- 0 正常
- 1 遅い。または1度でうまく行かないことあり。
- 2 肘掛けに腕をついて立ち上がる。
- 3 イスにふたたび倒れ込む。一度ではうまく行かないことあり。介助なしで立ち上がれる。
- 4 介助なしでは立ち上がれない。

28. 姿勢

- 0 正常
- 1 軽度の前屈姿勢。高齢者では正常な程度。
- 2 中等度に前屈姿勢。明らかに異常。すこし左右一方に偏っていても良い。
- 3 高度に前屈姿勢で。脊柱後彎(亀背)をともなう。中等度に左右一方に偏っていてもよい。
- 4 高度の前屈姿勢。姿勢は極端に異常である。

29. 歩行

- 0 正常
- 1 歩行は緩慢。数歩はひきずり足になる。加速歩行や前方突進はない。
- 2 歩行は困難をともなう。介助は要しない。加速歩行や数歩の前方突進あり。
- 3 いちじるしく障害。介助を要する。
- 4 介助があっても歩行不能。

30. 姿勢の安定性。(患者はまっすぐに立ち、開眼し、足はすこし開いて準備する。)

肩を後方に勢いよく引いて後方突進現象をみる)

- 0 正常
- 1 後方突進あり。自分で立ち直れる。
- 2 姿勢反射がおきない。検者が支えなければ倒れてしまう。
- 3 きわめて不安定。自然にバランスを失う。
- 4 介助なしでは立てない。

31. からだの動作緩慢。(動作緩慢、ちゅうちょ、腕の振りの減少、)

運動の振幅の減少と運動全体の少なさを総合的に評価する)

- 0 なし
- 1 わずかに緩慢。ゆっくりとした動作。人によっては正常のこともある。
運動の振幅がやや小さいこともある。
- 2 軽度に動作が緩慢。運動量があきらかに低下している。運動の大きさがやや低下。
- 3 中等度に動作が緩慢。運動量が低下し、または運動の大きさが低下している。

- 4 著明に動作が緩慢。運動量の低下。または運動の大きさが低下している。

UPDRS4、治療の合併症

A. ジスキネジア

3 2. 持続時間（起きている時間の何%か）

- 0 なし
- 1 1 - 25%
- 2 26 - 50%
- 3 51 - 75%
- 4 75 - 100%

3 3. ジスキネジアによる障害。

- 0 なし
- 1 軽度障害
- 2 中等度障害
- 3 重度に障害
- 4 完全な障害（なにもできない）

3 4. 痛みをともなうジスキネジア。どのくらい痛いか。

- 0 なし
- 1 軽度
- 2 中等度
- 3 重度
- 4 著明な障害

3 5. 早朝のジストニア

- 0 なし
- 1 あり

B. 症状の日内変動

36. 服薬時間から予測可能なオフ期間はあるか。

- 0 なし
- 1 あり

37. 服薬時間から予測不可能なオフ期間はあるか。

- 0 なし
- 1 あり

38. とつぜん（数秒以内など）おこるオフ期間はあるか

- 0 なし
- 1 あり

39. 起きている時間の何%が平均してオフ期間か。

- 0 なし
- 1 1 - 25%
- 2 26 - 50%
- 3 51 - 75%
- 4 76 - 100%

C. その他の合併症状

40. 患者は食欲低下、嘔気、嘔吐をともなっているか。

- 0 なし
- 1 あり

41. 不眠や眠気があるか。

- 0 なし
- 1 あり

42. 起立性低血圧症状はあるか。

- 0 なし
- 1 あり

以上